

PRESS RELEASE

2024/10/30

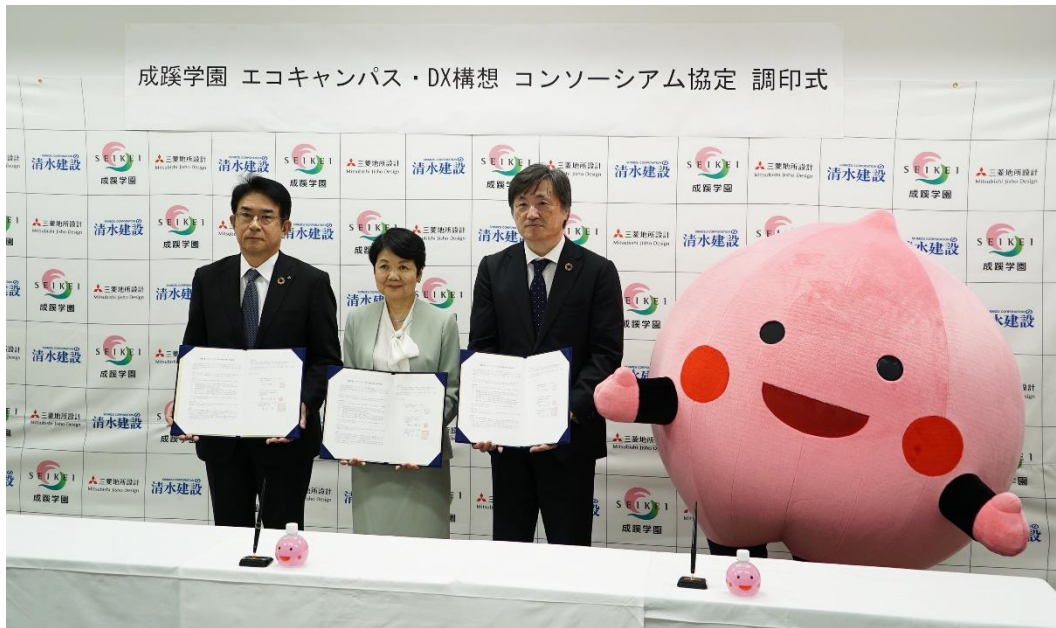
学校法人成蹊学園
清水建設株式会社
株式会社三菱地所設計

報道関係各位

『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』実現に向けた
コンソーシアムを設立発起

3者による学園のDXで「エコキャンパス」化を推進、調印式を開催

このたび、学校法人成蹊学園（東京都武蔵野市、学園長：江川 雅子、以下 成蹊学園）と清水建設株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：井上 和幸、以下 清水建設）と株式会社三菱地所設計（東京都千代田区、代表取締役社長：谷澤 淳一、以下 三菱地所設計）は、『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』の推進に向けたコンソーシアムを設立し、10月23日（水）に、この調印式を実施したことをお知らせいたします。



調印式の様子。左より、新村達也（清水建設 代表取締役副社長）、江川雅子（成蹊学園 学園長）、清水明（三菱地所設計 常務執行役員）、成蹊学園マスコットキャラクター ピーチくん [2024年10月23日、成蹊学園本館にて]

2030年を中期目標とした、『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』を推進

本コンソーシアムは、新時代の教育の実践や地域社会との連携のもと新たな共創拠点の構築を目指す成蹊学園と、同学園施設の設計・維持管理に長らく携わってきた三菱地所設計、建物の効率的なエネルギー運用のノウハウを持つ清水建設の3者により構成されています。

それぞれのリソースを共同活用することによって、エネルギー（省エネ）、ファシリティ（施設・運営）からのアプローチを図り、学園全体のDX化を進めてまいります。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社三菱地所設計 経営企画部広報室 corporate.communications.office@mj-seksei.com

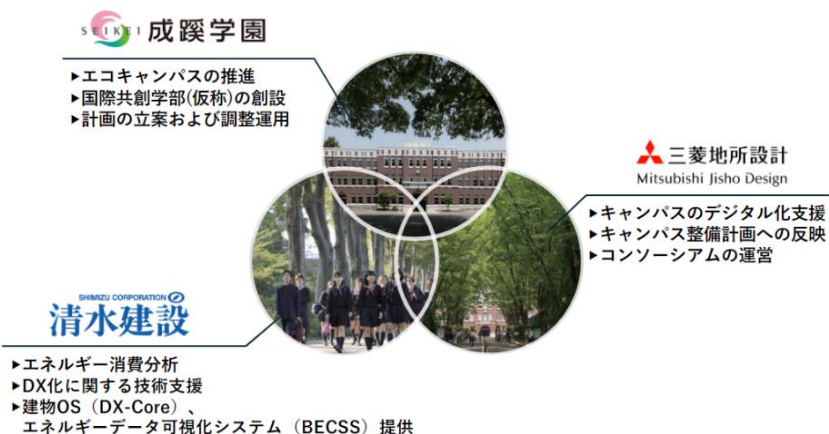
■ 『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』の目的

エコキャンパス化の推進を掲げる成蹊学園は、「サステナビリティ教育研究センター」の設立（2018年）をはじめ、持続可能な社会づくりに向けて多様な取り組みを行ってきました。2026年には「国際共創学部（仮称）」を創設予定。学際的かつグローバルな視点から、幅広い課題解決と次世代のリーダー輩出を目指しています。

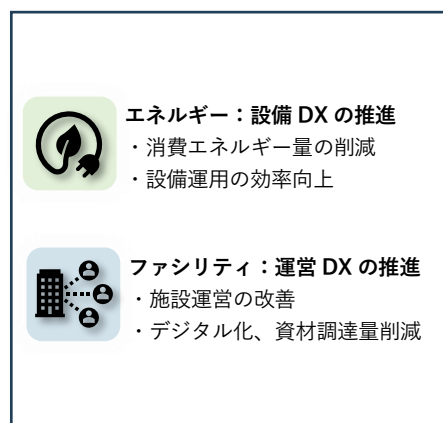
DX化の面では2020年に「Society5.0研究所」を設立。AI・IoT技術の研究と人材育成で業務効率化を進めています。

こうした背景のもとで3者が描く『エコキャンパス・DX 構想』は、最新デジタル技術を用いて学園全体のエネルギー管理を効率化することで環境負荷の低減を図り、持続可能な社会の実現に向けた研究・実践・教育の展開に取り組むものです。

コンソーシアムを構成する3社の役割



「設備」「運用」の2側面からDX化を推進



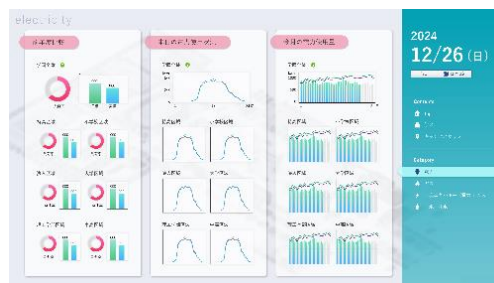
■ 『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』の取り組み計画

①クラウドへの情報統合で、一括管理と「見える化」を充実

キャンパス内の空調・照明機器や、入室管理情報、各種センサなどを通じ、エネルギーや設備機器の運転データをクラウド上に収集。ここでは、清水建設による「DX-Core」（建物デジタル化プラットフォーム）と「BECSSクラウド」（エネルギー管理システム）によりデータを「見える化」します。

課題抽出と運用改善でカーボンニュートラル化を推進し、教育・研究活動でのデータの利活用も図ります。今後は人口や明るさ、室温、CO₂濃度といった多様なデータも取り込み、統合・分析していくことを目指します。

エネルギーデータの見える化イメージ



②デジタルツイン構築でキャンパスの管理・運営を効率化

これまで、キャンパス内の各施設や各設備機器は、紙や表計算ソフト等の多様な媒体で管理されてきました。そこで、これらを含むさまざまなデータ（機器更新・建物改修の状況や、人流などのリアルタイムデータ）を一挙に集約し、キャンパスのデジタルツイン環境を構築します。迅速なデータ取得・分析を可能とする、学園職員に扱い易いツールで、効果的なキャンパス運営を支えます。

三菱地所設計による大丸有（大手町・丸の内・有楽町地区）地区の既存ビルのBIM化（建築情報のデジタルモデル化）などの知見を活かし、キャンパスの建物管理や改修計画などへの展開を目指します。

一括管理されたデジタルツイン環境



こうしたデータやデジタルツイン環境を組み合わせ、カーボンニュートラル化に向けた将来のキャンパス・施設の修繕計画やエネルギー計画の策定へのフィードバックを図ります。3社で協業し「2030年にCO₂を50%削減へ」という目標実現に向けて取り組んでまいります。

■ 各社プロフィール

※ここで紹介している計画は 2024 年 10 月現在のものであり、今後の取り組み方針によって変更となることがあります。



- ▶ エコキャンパスの推進
- ▶ 国際共創学部（仮称）の設立
- ▶ 計画の立案および調整運用

子どもたちに誇れるしごとを。



- ▶ エネルギー消費分析
- ▶ DX 化に関する技術支援
- ▶ 建物 OS (DX-Core)、エネルギーデータ可視化システム (BECSS) 提供



- ▶ キャンパスのデジタル化支援
- ▶ キャンパス整備計画への反映
- ▶ コンソーシアムの運営

成蹊学園は、東京・吉祥寺にある、小学校から大学院まで一貫した教育を提供する教育機関です。建学の精神である「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」を礎に、「知育偏重ではなく、人格、学問、心身にバランスの取れた個性尊重の人間教育」を 100 年に亘り実践してきました。確かな教養と豊かな人間性を兼ね備え、社会の発展のために献身的に貢献できる人材を育成することをミッションとして社会に貢献していきます。

清水建設は、建設事業の枠を超えた不断の自己変革と挑戦、多様なパートナーとの共創を通じて、時代を先取りする価値を創造し、人々が豊かさや幸福を実感できる持続可能な未来社会の実現に貢献しています。建設を中核事業としつつ、不動産開発、エンジニアリング、グリーンエネルギーなどの諸事業を展開する中で、次の世代、次の時代に対して誇れる仕事ができるように、常にコーポレートメッセージ「子どもたちに誇れるしごとを。」を意識し、日々の業務に取り組んでいます。

三菱地所設計は、1890 年の創業以来、東京都千代田区丸の内に拠点を構え、都市計画から建築設計・監理、企画・コンサルティング、リノベーション、コンストラクションマネジメントなど、広がり続ける活動領域に 130 年を超える技術の蓄積やネットワークで向き合う、日本で最も歴史ある組織設計事務所です。中国・上海とシンガポールに海外拠点を設け、東アジア・東南アジア全般に展開。日々多様な業務に取り組んでいます。

以上